収第199号
8.1.15
庄内町議会

「町民と語る会」報告書

開催日時	令和7年8月25日	午後2時30分 ～ 午後5時00分
団体等名	狩川地区自治会長会	
開催場所	狩川まちづくりセンター「大ホール」	
出席議員	吉宮茂、小野一晴、加藤將展、斎藤秀紀 石川保議長（オブザーバー）　計5人	
参加人数	13人　（佐藤会長、副会長、・監事含め10人と事務局3人）	
主な「質疑」「意見」「要望」「提言」など	テーマ：「若者も住みたくなる街・狩川」 (1) 狩川周辺の公共施設で空き家及び空き地の再利用（活用）について （自治会） ア　合併して20年経過したが、余目地区と狩川地区の格差が拡大している買い物が出来る場所を作るなど若者が定着するには何が必要か検討すべきだ。 イ　武道館は、余目地区に建設されている、立川地域にも残すよう配慮すべきだ。中学校の体育館など今後どう利用していくのか町民に示すべきだ。 ウ　セミナーハウス、テニス場跡地に長屋横丁広場を、小学校、中学校の統廃合後の利用策として高齢者向け施設やサテライトオフィスなどの誘致を検討すべきだ。 （議員） ア　今のところ柔道場、剣道場は立川地域の人が使用可能である。 イ　例えば、酒田市松山地区の生涯学習施設「里仁館」や由利本荘市の「鳥海木のおもちゃ美術館」などのような、狩川に他からお客さんとして来ていただくような学習施設や体験型施設を考えては。 (2) 狩川に特定される目玉となるような事柄やシンボル的なものの創出について （自治会） ア　立川地域で実施されているラベンダーまつりなどのイベントがどの位の集客力があるのか調査をし、交流人口の拡大や若者の定住対策につなげるべきだ。 イ　風車村には、バッテリカーの利用でお客さんが訪れている。店の常設や大観覧車などを備えた遊園地を設置してはどうか。またこれらの事業財源として「庄内町再生可能エネルギ農山漁村活性化基金」の活用も将来的には可能ではないか。 （議員） ア　狩川地区は開放的で見晴らしの良い地域であり、こうした特長を生かしていくべきと考える。 イ　高規格道路国道47号線のルートが決定しつつあるが、狩川インターチェンジを考慮した企業誘致、サービスエリアの造成を考え	

【参考様式】

るべきだ。

(3) その他

① 今回行われた衆議院選挙投票日に町議会議員補欠選挙が出来なかった理由について

(自治会)

ァ 来年6月まで1人の定数減で推移するのか、スルタン氏は来年の町議会議員選挙に立候補は可能なのか。

(議員)

来年の6月まで1人欠員状態となる。今回の自動失職は議員のまま町長選に立候補したことにより公選法90条により失職となった。来年の選挙に立候補は可能であるが倫理上、町民がどう判断するかが課題と考える。

② 風力発電の復旧計画と進捗計画について

(自治会)

町道の崩壊によって、埋設されている送電線が損傷を受けた場合は、町が負担することとなっているようだが、林道に埋設された送電線はどこが負担するのか。

(議員)

あくまでも送電線の復旧は事業者であり、林道の復旧は町の責任となっている。なお、現在未稼働となっている2社8基の風車については11月から再開の見通しと聞いている。

③ 大型車による騒音と振動対策その後の状況について

(自治会)

佐藤自治会長より、国道345へ看板を設置してからの大型車両走行　　の状況について8自治会から回答のあったアンケート調査の結果について説明があった。藤島方面からの走行車両が減ったと感ずる自治会は2、変わらない自治会は6となっている。評価はイマイチといった状態である。

看板設置によって、大型車の通行量は感覚的に減っているような気がするが、普通車については変化がないように思える。

(議員)

カーナビで誘導する傾向があるため、「日本デジタル協会」に自制の要請を行ったが、最近は効果が出ていると思う。ただ、若い人はカーナビに頼らずにスマホを利用するため、解消されない傾向があるのではないかと思っている。

④陸羽西線再開の現状について

(石川議長)

高屋トンネルと陸羽西線の間の強化工事の進捗状況について、説明あり。尚、9月25日に庄内町・戸沢村道路連携フオーラムがあり最新情報が入ったら提供したい。工事の管轄は山形河川国道事務所であるが、工事の進捗状況を勘案し確信状態にならないと再開の発表はしないと聞いている。

(以上)

庄内町議会議長　殿

令和８年１月 15 日

庄内町議会「町民と語る会」実施要領の規定により提出します。

令和７年度町民と語る会
立川地域選出議会議員班

班長　　齋藤　秀紀
書記　　吉宮　　茂

【参考様式】